

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	4	2	<ul style="list-style-type: none"> ・定員が満員の際は狭く感じ、子ども同士が密集することがある。 ・定員満員の際や体操教室の際は、狭く危険に感じるが、普段においては適切。 ・利用定員スペースは適切だと思う。昼寝をするスペースが区切られるとより望ましいと思う。
	2	職員の配置数は適切であるか	4	2	<ul style="list-style-type: none"> ・足りない場合は前もってヘルプを依頼している。 ・曜日や時間帯によって、足りないこともある。正職員が休んだ時の有資格者数が課題である。 ・子ども8人までは運転手2名で回れるが、9名
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	6		<ul style="list-style-type: none"> ・ベビーゲートでプレイルームと勉強部屋を分けている。 ・児童は利用しやすく、職員は働きやすい環境にあると思う。 ・スケジュールが分かりやすいよう、ホワイトボードに時間と取り組みを書いている。 ・療育・着替え・自由あそびの場を分けることで、分かりやすく動きやすいよう環境を整えている。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	6		<ul style="list-style-type: none"> ・清掃は毎日分担して行っている。 ・清潔さは保たれている。 ・おもちゃをきっちり片付け、食事の際など目に入らないようにできている。 ・勉強・着替え・遊びのスペースが分かれています。
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	6		<ul style="list-style-type: none"> ・職員同士で情報共有を行っている。 ・会議や研修の内容は共有されている。 ・毎日どれくらい目標に近づけたか、どれくらいできるようになったかなど伝え合うことができている。
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	6		<ul style="list-style-type: none"> ・保護者の方の意見を参考にさせてもらい、改善点を話し合っている。 ・年に1回実施され、保護者からの意見を取り入れるよう心がけている。 ・出来るようになってほしいことを基準に個別支援を進めている。
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	6		<ul style="list-style-type: none"> ・年に1回実施され、HPで公表している。
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	3	3	<ul style="list-style-type: none"> ・第三者による外部評価を行っていない。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	6		<ul style="list-style-type: none"> ・研修会の情報を共有している。研修に参加しやすい環境である。 ・研修会に参加し、記録を残し周知し、療育に活かしている。
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	6		<ul style="list-style-type: none"> ・保護者へのヒアリングを丁寧に行っている。
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	6		<ul style="list-style-type: none"> ・概ねできている
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	6		<ul style="list-style-type: none"> ・ご家族や利用者様の意向をもとに、十分な聞き取りをした上で設定を行っている。
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	6		<ul style="list-style-type: none"> ・一人一人子どもにあった支援を行っている。
	14	活動プログラムの立案をチームで行っているか	6		<ul style="list-style-type: none"> ・事業所会議で話し合って検討している。 ・個別支援の相談はどの都度行っている。
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	6		<ul style="list-style-type: none"> ・事業所会議で様々なプログラムを相談して決めている。 ・同じ取り組みが続かないように努めている。
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成しているか	6		<ul style="list-style-type: none"> ・個々の要望に応じて作成している。

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
	17 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	6		・引継ぎ事項等、その都度伝えている。 ・概ね情報の共有や確認は取れている。 ・児童のその日の変化や送迎時に保護者から聞いた情報を共有している。 ・送迎の関係で前日になることもある。
	18 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	6		・情報共有を行っている。 ・概ね情報の共有や確認は取れている。 ・毎日振り返りを行い、次の支援を決めている。 ・送迎の関係で翌日になることもある。
	19 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	4	2	・振り返りはしているが、記録が取れていない。 ・毎月のをまとめて記録に残し、日々の物はできていない。
	20 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	6		・子どもの様子に合わせて見直しをしている。
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	21 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	6		・相談支援員と連絡を取りあい、より良い支援につなげられるように話し合っている。
	22 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	6		・相談支援員と相談、情報共有を行っている。 ・モニタリング等を通し、概ねできている。
	23 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	3	3	・医療的ケア、重症心身障害のある児童が在籍していない。
	24 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	3	3	・医療的ケア、重症心身障害のある児童が在籍していない。
	25 移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	6		・送迎の際に、情報共有し、支援内容等を確認している。 ・必要があれば電話のやり取りも行っている。
	26 移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	3	3	・小学校との連携は取れていない。 ・開業してから、まだ小学校に上がった子がいない。
	27 他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	6		・相談支援員と情報共有している。 ・外部機関に訪問を依頼し、意見を聞いている。 ・研修に参加したり機関支援等で助言をいただき、活かしている。
	28 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	2	4	・コロナ禍のため機会を持つことが難しかった。
	29 (自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	4	2	・コロナ禍のため機会を持つことが難しかった。 ・研修や交流会に参加している。
	30 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	6		・送迎の際にお話する時間をいただいている。 ・送迎時にその日の様子を伝えている。また、家での様子を聞くように心がけている。
	31 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	4	2	・個別での相談に乗ることはあるが、全体に向けてはできていない。 ・送迎時や相談時、個別での支援の具体例を伝え、実施してもらうようにしている。
32 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	6		・契約時に時間をいただき、説明している。	

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など	
保護者への説明責任等	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	6		・直接面談し、児童発達支援計画を説明しながらお渡しし、同意を得ている。
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	6		・送迎の際にコミュニケーションをとっている。 ・面談の時間を設けたり、電話での相談に乗ったり助言を行っている。
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	6		・年1回程度保護者会を開催している。 ・保護者会を行い、保護者同士の関わりがもてる場を提供している。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	6		・必要であれば、個別相談を行っている。
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	6		・月1回のお便りや、月2回ブログで活動の様子を伝えている。
	38	個人情報の取扱いに十分注意しているか	6		・書類は書庫に入れて保管している。 ・十分に注意している。
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	6		・絵カード等を用いて、視覚的配慮をしながら意思疎通を行っている。 ・簡単な動作等、分かりやすく伝えられるように配慮している。
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	1	5	・コロナ禍のため機会が設けられていない。
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	6		・マニュアルの書類配布を行っている。定期的に防犯についての話を子どもたちに行っている。 ・過度に児童がおびえないよう、工夫しながら訓練を適切に行っている。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	5	1	・定期的に近くの避難所まで、ルート確認を行ったり、災害の話をしたりしている。 ・過度に児童がおびえないよう、工夫しながら訓練を適切に行っている。
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	6		・契約時(アセスメント時)に健康状態等含め、確認している。 ・職員間でも情報の共有が出来ている。 ・その日の様子を園から送迎時に聞いたり、直近の発作日を聞いたりしている。
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	5	1	・食物アレルギーのある子を表にまとめ、誤食がないようにしている。 ・アレルギーの把握はしているが、医師の指示書は取っていない。 ・医師からの指示に基づき、保護者より伺い個別に対応している。
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	5	1	・その都度作成し、周知している。
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	6		・事業所内研修で、年1回は必ず行っている。 ・月に1度事例をあげ、対応についての話し合いを行うようにした。
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	6		・現利用時に対象者はいないが、必要がある場合は記載することになっている。

○この児童発達支援自己評価表は、児童発達支援センター又は児童発達支援事業所の職員の方に、事業所の自己評価をしていただくものです。「はい」、「いいえ」のどちらかに「○」を記入するとともに、「工夫している点」、「課題や改善すべき点」等について記入してください。